

平成 2 7 年度

施政並びに予算編成方針

箕 輪 町

目 次

はじめに	1
平成27年度予算編成の基本方針	2
平成27年度予算の概要	3
平成27年度一般会計予算の歳入について	6
平成27年度一般会計予算の歳出について	9
特別会計	
国民健康保険特別会計	32
後期高齢者医療特別会計	32
介護保険特別会計	33
水道事業会計	33
下水道事業会計	34

平成27年度 施政並びに予算編成方針

はじめに

平成27年3月定例議会において、平成27年度一般会計予算案をはじめ、町政の重要案件をご審議いただくにあたり、私の町政運営に関する基本的な所信を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を願うものであります。

国内の経済状況は、国の経済政策による効果もあり、円安と原油安により輸出関連企業を中心に好調の兆しが見え、昨年10月から12月の国内総生産（GDP）は3期ぶりのプラス成長になるなど、景気は緩やかな回復基調にあるとされております。

しかし、昨年4月の消費税増税により、個人消費が未だ回復せず、景気回復の動きが地方には十分に及んでいない状況にあります。また、国は地方創生や経済活性化の観点から、「まちづくり、ひとづくり、しごとづくり」の推進、子育て支援や医療・介護分野の充実など暮らしの安全・安心の確保に資する施策に重点化が図られるなど、本年度を上回る地方一般財源総額が確保されております。

箕輪町は、今年、町発足60周年を迎え、先人・諸先輩の皆様のたゆまぬ努力の甲斐あって活力あふれるすばらしい町に発展してきました。しかし、少子・高齢化、人口減少は当町にもひしひしと迫ってきている待ったなしの課題となっています。

こうした中、今回提出しました平成27年度予算案は、私にとりまして就任後初の当初予算であります。平成27年度は、今後の長期的な町の方向性を決めていく重要な時期でもあり、従来からの「子育て支援・教育の充実したまちづくり」、「安全安心なまちづくり」を引続き推進するとともに、町民の皆様と手を携えて「さらに力強いまち」づくりを目指し、人も元気に！まちも元気に！産業も元気に！みんな元気に！をスローガンに「住んでいて良かった」「住んでみたい」まち箕輪、を実現するため、ソフト事業を中心に予算を編成いたしました。

平成27年度予算編成の基本方針

平成27年度は、まちづくりの今後10年の方向性を示す次期総合計画の策定をはじめ、地方創生のための地方版総合戦略と人口ビジョン、公共施設総合管理計画の策定など、人口減少という局面を迎えてはじめての中長期的なまちの舵取りを考える、転機之年です。

また、少子・高齢化、人口減少問題をはじめ、地域人材の育成、農林業を含めた産業の振興など、今後も安心して住み続けられる町であるための課題も多く、住民の皆様と知恵を絞り、できることを総動員して立ち向かう必要があります。

そこで、これまで取り組んできたまちづくりを基本としながら、適切な評価と成果を通じて磨き上げ、次の10年に向けて「さらに力強い」まちづくりを進めるべく、**「5つの重点施策」**を柱に予算編成を進めてまいりました。

第1に「長期的なまちづくりの計画策定」でございます。

みのわ未来委員会を立ち上げ、第5次振興計画を含む長期的な町のあり方を考えてまいります。また、みのわブランド戦略を策定し「みのわ」を積極的に発信してまいります。

第2に「少子・高齢化、人口減少問題への挑戦」であります。

子育て世帯の負担軽減を図るとともに、さまざまな切り口で人口減少問題に取り組めます。保育園の整備も早期に実現するよう進めてまいります。

第3に「がんばる人・事業者・地域を応援し、まちを元気に」いたします。

農・商・工業の活性化や今がんばっている人を支援する仕組みをつくりまします。町発足60周年記念事業を皆さんの参加のもとに開催し、元気なまちを目指します。

第4に「住みやすく安全・安心なまちづくり」であります。

豊かな自然環境の保持と快適に生活するためのインフラ整備を引き続き進めるとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めて参ります。

自助・共助・公助を基本とし、自助のサポート、共助のシステムの構築と支援を踏まえ公助について充実を図ります。

第5に「足腰の強い行財政運営」であります。

迫りくる困難な局面に立ち向かい課題を解決していく人材を育成し、財政面でもより健全な運営を進めてまいります。

平成27年度予算の概要

「将来を見据えた未来思考型」予算

平成27年度 会計別歳入歳出予算一覧

(単位:千円、%)

会計名		本年度	前年度	比較	増減率
一般会計		8,807,000	8,888,000	△ 81,000	△ 0.9
国民健康保険特別会計	事業勘定	2,730,059	2,349,576	380,483	16.2
	施設勘定	70,240	82,006	△ 11,766	△ 14.3
後期高齢者医療特別会計		227,749	237,072	△ 9,323	△ 3.9
介護保険特別会計		1,881,777	1,784,651	97,126	5.4
小 計		13,716,825	13,341,305	375,520	2.8
水道事業会計	収益的収入	506,096	564,500	△ 58,404	△ 10.3
	収益的支出	506,096	666,354	△ 160,258	△ 24.0
	資本的収入	10,600	18,700	△ 8,100	△ 43.3
	資本的支出	208,019	208,390	△ 371	△ 0.2
下水道事業会計	収益的収入	1,079,182	1,152,216	△ 73,034	△ 6.3
	収益的支出	1,079,182	1,152,216	△ 73,034	△ 6.3
	資本的収入	500,701	454,844	45,857	10.1
	資本的支出	871,056	866,312	4,744	0.5
合 計(小計+公営企業会計収益的支出)		15,302,103	15,159,875	142,228	0.9

平成27年度一般会計当初予算額は88億700万円となり、26年度に比べ8,100万円、0.9%減となりました。

減額の要因としては、町内巡回バスの更新完了により4,219万円の減、社会資本整備総合交付金・狭あい道路整備事業が4,608万円の減、広域化に伴う伊那消防組合負担金が1億518万円減、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金事業

が8, 293万円の減になったことがあげられます。

増額の要因は、三日町保育園園庭拡張工事が2, 295万円、多面的機能支払交付金事業が2, 969万円増、消防団ポンプ車の更新が1, 728万円を新規に計上したこと等が増の要因です。

平成27年度の主な事業として、

「長期的なまちづくり計画策定」のために、

みのわ未来委員会の設立と総合計画の策定に883万円、総合的なみのわブランド戦略に100万円、公共施設総合管理計画の策定に405万円を計上いたしました。

次に、迫りくる「少子・高齢化、人口減少問題への挑戦」として

保育料の負担軽減を約2,000万円、学童クラブの負担を約500万円軽減いたします。また、新規に産後ケア・母乳相談事業を実施するとともに、不妊治療費補助事業を143万円に拡充いたしました。

新たに産科医療機関が町内に開業した場合の費用補助制度を創設し、安心して出産ができる体制を目指してまいります。

保育園の整備では、三日町保育園園庭の拡張工事を2,295万円で行うとともに、木下と沢の保育園については地元と検討を進めてまいります。

次に、「がんばる人・事業者・地域を応援し、まちを元気に」するため、

新たに、頑張る元気な商店応援事業として300万円を計上し、商業の活性化を支援します。また、農業応援団を検討し農業に対する新たな支援と地域おこし協力隊員も増員して地域の元気をサポートします。

町発足60周年事業では800万円を計上し、住民の皆さんが大勢参加できるような記念事業を行ってまいります。

ながた自然公園周辺リニューアル事業では6,816万円を計上し平成26年度からの事業を完了させ、皆様の憩いの場として新たにオープンいたします。

「住みやすく安全・安心なまちづくり」の推進のために、

自然エネルギーの活用に向けた新たな事業として200万円を計上いたしました。

要望が強い生活道路の改良や側溝の改修に1億1,986万円、社会資本整備総合交付金事業に2億1,116万円を計上するなど、インフラ整備を進めてまいります。

まちを守る消防団員の報酬を増額するなど1,275万円を、消防団第3分団のポンプ車の更新に1,728万円を計上いたしました。また、防災ハザードマップを更

新し防災意識の高揚を図るとともに、町内の気象観測装置も増設してまいります。

5番めとして「足腰の強い行財政運営」のために

町職員の人材育成を進めるとともに、町の借金である起債の借入を前年度比1億4,660万円減額し、後年度への財政負担の軽減を図りました。

<平成27年度の実質的な予算規模>

平成26年度の繰越事業は、高速道路跨道橋に係る橋梁補修工事が7,562万3千円、中学校給食施設建設事業（延長増工分）が4,108万7千円、町民体育館・武道館・図書館の耐震診断事業が1,057万4千円、林道専用道桑沢線開設事業が1,328万6千円、町発足60周年記念イベント事業が144万5千円のほか、プレミアム商品券発行事業など国の補正予算による地方創生事業分が7,600万円であり、総額で**2億1,801万5千円**の事業を繰り越します。

したがって、実質的な27年度予算規模は、**90億2,501万5千円**となります。

平成27年度一般会計予算の歳入について

一般会計予算款別一覧表（歳入）

単位:千円、%

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額	構成比	比較	増減率
1. 町税	3,300,000	37.5	3,333,700	37.6	△ 33,700	△ 1.0
2. 地方譲与税	112,000	1.3	117,000	1.3	△ 5,000	△ 4.3
3. 利子割交付金	6,000	0.1	6,000	0.1	0	0.0
4. 配当割交付金	5,000	0.0	5,000	0.1	0	0.0
5. 株式等譲渡所得割交付金	200	0.0	200	0.0	0	0.0
6. 地方消費税交付金	312,000	3.5	312,000	3.5	0	0.0
8. 自動車取得税交付金	16,000	0.2	16,000	0.2	0	0.0
11. 地方特例交付金	15,000	0.2	15,000	0.2	0	0.0
12. 地方交付税	1,830,000	20.8	1,780,000	20.0	50,000	2.8
13. 交通安全対策特別交付金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0
14. 分担金及び負担金	217,281	2.5	235,394	2.6	△ 18,113	△ 7.7
15. 使用料及び手数料	53,844	0.6	53,231	0.6	613	1.2
16. 国庫支出金	666,849	7.6	734,176	8.3	△ 67,327	△ 9.2
17. 県支出金	453,022	5.1	412,169	4.6	40,853	9.9
18. 財産収入	9,181	0.1	11,625	0.1	△ 2,444	△ 21.0
19. 寄附金	4,202	0.0	1,003	0.0	3,199	318.9
20. 繰入金	398,268	4.5	273,032	3.1	125,236	45.9
21. 繰越金	300,000	3.4	330,000	3.7	△ 30,000	△ 9.1
22. 諸収入	420,753	4.8	418,470	4.7	2,283	0.5
23. 町債	684,400	7.8	831,000	9.3	△ 146,600	△ 17.6
歳入合計	8,807,000	100.0	8,888,000	100.0	△ 81,000	△ 0.9

町税は、アベノミクス効果や消費税増税後の経済状況は緩やかに回復の動きがみられますが、急速な円安により業種で明暗が分かれている状況の中、**個人町民税**については、必ずしも町民税の伸びにつながっておらず、前年度比1.2%の減収を見込みました。**法人町民税**については、企業収益の一部回復傾向を受け、前年度比40.3%の増収を見込んでおります。

固定資産税については、3年に一度の評価替えの年であることや企業の新たな設備投資が望めないことにより、前年度比8.3%の減収と見込み、**軽自動車税**は、前年度比6.2%の増収を、**町たばこ税**は前年度比4.2%の減収を見込みました。

町税全体では、33億円と、前年度に比べ3,370万円、率では1.0%の減を見込みました。

地方譲与税は、**地方揮発油譲与税**3,400万円、**自動車重量譲与税**7,800万円、あわせて1億1,200万円と前年度比500万円の減額を見込みました。

利子割交付金は、600万円と前年度と同額を、

配当割交付金は、500万円と前年同額を、

株式等譲渡所得割交付金は、20万円と前年度と同額を見込みました。

地方消費税交付金は、3億1,200万円と前年度と同額を、

自動車取得税交付金は、1,600万円と前年度と同額を、

地方特例交付金は、1,500万円と前年度と同額を見込みました。

地方交付税は、18億3千万円で前年度決算見込み額、地方財政計画の状況を勘案し、前年度比5千万円の増を見込みました。

交通安全対策特別交付金は、前年と同額の300万円を計上いたしました。

分担金及び負担金は、2億1,728万1千円を見込みましたが、保育料の負担軽減などにより、前年度より1,811万3千円の減額を見込みました。

使用料及び手数料は、公営住宅使用料など5,384万4千円を見込みました。

国庫支出金は、児童手当負担金、自立支援事業費負担金、社会保障・税番号制度システム整備費整備費補助金、社会資本整備総合交付金など、事業実施に伴う国庫負担金及び国庫補助金、委託金を、あわせて6億6,684万9千円を見込みました。

県支出金は、児童手当県負担金、自立支援事業費県負担金、国保保険税軽減負担金などを見込み、4億5,302万2千円を計上いたしました。

財産収入は、土地建物貸付収入及び基金の運用収入で、918万1千円を見込みました。

寄附金は、ふるさと応援寄附金など、420万2千円を計上いたしました。

繰入金は、元気なまちづくりを推進するための積極的な財源として、財政調整基金からの繰入を3億7千万円見込みました。

繰越金は3億円と前年度比3,000万円減を見込みました。

諸収入は、4億2,075万3千円を見込みました。

町債は、町道の改良・舗装補修工事等に充てる地方道路等整備事業債、公共事業等債などを見込みました。

なお、地方交付税の財源不足を地方の起債としてまかなうために発行する**臨時財政対策債**を、前年同額の4億6千万円見込んでおります。

町債総額では、6億8,440万円と、前年度より1億4,660万円減少いたしました。

平成27年度一般会計予算の歳出について

一般会計の款ごとの一覧は次の表のとおりです。

一般会計予算款別一覧表(歳出)

単位:千円、%

款	本年度予算額	構成比	前年度予算額	構成比	比較	増減率
1. 議会費	111,201	1.3	106,023	1.2	5,178	4.9
2. 総務費	1,004,547	11.4	969,443	10.9	35,104	3.6
3. 民生費	2,296,845	26.1	2,324,220	26.1	△ 27,375	△ 1.2
4. 衛生費	1,192,947	13.6	1,176,851	13.2	16,096	1.4
6. 農林水産業費	582,818	6.6	541,519	6.1	41,299	7.6
7. 商工費	532,944	6.1	530,978	6.0	1,966	0.4
8. 土木費	1,013,866	11.5	1,108,768	12.5	△ 94,902	△ 8.6
9. 消防費	345,852	3.9	449,530	5.1	△ 103,678	△ 23.1
10. 教育費	805,090	9.1	798,810	9.0	6,280	0.8
11. 災害復旧費	3,000	0.0	4,361	0.0	△ 1,361	△ 31.2
12. 公債費	878,890	10.0	832,497	9.4	46,393	5.6
14. 予備費	39,000	0.4	45,000	0.5	△ 6,000	△ 13.3
歳出合計	8,807,000	100.0	8,888,000	100.0	△ 81,000	△ 0.9

この後は、第4次振興計画に掲げられた7つの「まちづくりの柱」に沿って、特別会計で実施する事業も含めて申し上げます。

1 ふれあいを深め、みんなでつくる協働のまちづくり

箕輪町は平成27年1月1日に**町発足60周年**を迎えました。今日までの間、町の発展にご尽力いただきました先人の皆様をはじめ、町を支えてくださった多くの関係の皆さまに改めて感謝を申し上げます。

この節目にあたり「60年に感謝し、未来へ羽ばたく箕輪の和」をテーマに、更なる町の発展のため、60年の歩みから、先人が築き上げた文化や歴史を再発見し、未来へつなげていく年と位置づけ、記念事業を実施してまいります。

平成24年5月12日に国際認証を取得した安全安心のまちづくり「**セーフコミュニティ**」は、平成27年度に取得4年目を迎えようとしています。

これまで「地域の絆」「協働」「継続」をキーワードに安全安心の仕組みを全町的に水平展開すべく毎年5月12日を「箕輪町安全安心の日」と宣言するなど、「**セーフコミュニティ**」を基本とした**協働のまちづくりを推進**してまいりました。

平成27年度は、携帯用「命のカプセル」や認知症高齢者保護用反射靴ステッカー等の活用により、その取組みや成果の「見える化」に努めるとともに、セーフコミュニティを町民の皆様に更に理解協力していただくために、町発足60周年記念「箕輪町安全安心の日の集い2015（仮称）」などを実施いたします。

協働のまちづくりとしては、平成16年度に創設した町税の1%相当を地域に合った活性化事業に利用できる**地域総合活性化事業交付金（1パーセントルール）**、区事務支援金を計上いたしました。また、緊急事案対応分を予備費に留保した形で予算化しました。

職員雇用の面では、**障がい者非常勤職員の報酬**を計上し、障がい者雇用を推進してまいります。

外国人の生活支援の一環として、庁舎内に外国人生活支援相談員を配置して、配布文書等の翻訳、来庁者通訳、就学児童生徒及び保護者の通訳など、外国人居住者の皆様へのサービスの向上、快適な箕輪への定住を目指します。

町民の皆様の生活に密着した**行政関係情報**を、よりタイムリーにわかりやすく、きめ細やかに発信するため、引き続き広報誌「みのわの実」の発行・町ホームページ・音声告知放送・伊那ケーブルテレビによる自主番組の放映や文字情報放送を行ってまいります。

特に、「みのわの実」をはじめとする毎月の配布物は、これまで常会を通じて配布してまいりましたが、平成27年度からは全ての町民の皆様のお手元に届くよう全戸配布をしてまいります。

引き続き、顧問弁護士による**無料法律相談**を継続して実施し、町民の皆様の不安解消の機会を設けます。

<行財政改革の継続推進による町の体質強化>

町職員の**人材育成**と適正な処遇を図り、職場・職場外研修、国・県への派遣研修、ビジネスリーダー養成を目指すワークショップ講座・人材マネジメント研修等への派遣研修により、政策形成能力の高い職員を育成してまいります。

平成27年度の組織体制といたしましては、町民が町の施策に対してよりわかりやすくアクセスしやすい組織として、また、町の施策を庁内分権型により実行実現するために、経営企画課を企画振興課に、保健福祉課を福祉課と健康推進課、建設水道課を建設課と水道課とし、それに伴い一部係の新設を行います。

平成27年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	セーフコミュニティの推進	4,056
新規	「町発足60周年」記念事業	8,000
継続	地域総合活性化事業交付金制度の充実 地域活性化のため、協働のまちづくりとして、区が自ら行う事業に対して助成する。(区事務支援金、緊急対応分含む)	43,500
新規	障がい者雇用の推進(非常勤職員採用)	5,221
継続	外国籍住民生活相談業務	1,440
継続	国、県等への職員研修派遣	14,393
継続	地域集会施設建設、改修事業補助金 (平成26年度 3,723千円)	1,887
継続	固定資産税基礎資料整備委託	2,495

2 誰もが健やかに暮らせるぬくもりのあるまちづくり

<健康づくりの推進>

「誰もがいきいき、みんなで支える福祉のまち健康長寿の里 箕輪町」を目指し、健康寿命の延伸に力点を置いた特徴のある健康づくり施策を継続して実施してまいります。

箕輪町の健康づくりの特徴は、コミュニティづくりにあります。11年目を迎えるみのわ健康アカデミーの開講、アカデミーOBとの連携による運動ボランティアの育成、箕輪町食生活改善推進協議会との連携による食育ボランティアの育成等、介護予防拠点施設を活用した健康コミュニティづくりの推進を図ってまいります。

町民の生活習慣の変化と多様化により、高血圧、脂質異常症、糖尿病等の**生活習慣病**が増加し、これらによる心疾患、脳卒中、慢性腎臓病等の重篤な疾患が発症しています。これらの生活習慣病の増加は、医療費の増加にもつながることから健康づくり対策において大きな課題となっています。

疾病は、特に予防と早期発見が重要であるため、特定健診の対象外となる20歳～39歳の若年層についてその受診機会を増やし、早期の生活習慣病予防に取り組むとともに、引き続き、**がん検診の無料節目検診、個人負担金の軽減**、受診会場や日程等に配慮した検診受診率の向上、生活改善の必要な方への保健師、管理栄養士による保健指導を強化いたします。

高齢者の健康づくりでは、人間ドック・循環器健診の補助を引き続き実施してまいります。

予防接種事業は、昨年10月から定期接種となった水痘と高齢者肺炎球菌ワクチンをはじめとする各種定期予防接種を引き続き実施することで、感染症の予防とまん延防止に努めてまいります。新たに、里帰り先など県外の医療機関で接種した予防接種費用の公費負担補助を実施してまいります。

成人歯科保健事業は、20歳から60歳までの10年ごとの節目の歯科健診を無料で実施する**歯科ドック事業**を引き続き実施し、定期的な歯科健診及び歯の大切さを認識してもらい、生涯現役の健康な体づくりを推進してまいります。

経済の低迷やストレス社会により、心や身体のバランスを崩しやすい環境であるため、専用フリーダイヤルで**365日24時間電話相談できる事業**を引き続き実施するとともに、健康づくり講演会やこころの健康相談を実施してまいります。

<子育て支援のための保健事業>

産科医療機関が町内に新規開業した場合の費用補助制度を創設し、町内に産科医療機関を確保することにより、妊婦が安心して出産できる環境づくりに取り組みます。

妊婦が健診費用の心配をせず、出産までに必要とされる14回の健診、4回の超音波検査及び血液検査等が受診できるように、**妊婦健診費用**を補助する予算を引き続き計上いたしました。

また、妊娠期間中の口腔内の病気や虫歯が、胎児にも影響を及ぼすことに着目し、妊婦が無料で歯科健診を受けられる**妊婦歯科健康診査「プレママ歯ッピー事業」**を引き続き実施するため、必要経費を計上いたしました。

少子化対策の充実としては、不妊治療費に対する補助上限額を拡充し、**不妊治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減**を図るとともに、新たに、出産後の育児不安解消や母子の健康保持を図り、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、出産後の産婦を対象に医療機関や助産所において、母体管理、育児支援及び母乳相談など**産後ケア・母乳相談等事業**に係る費用の補助について必要な予算を計上いたしました。

新生児の全戸訪問事業は、保健師等により育児相談等を引き続き実施するとともに、低出生体重児に係る未熟児養育医療費の給付と、該当児及び母親への保健師による訪問事業を引き続き実施してまいります。

子育て情報や子どもの成長記録が残せる**箕輪町オリジナル版の「子育てメモリーブック」**は好評をいただいております、引き続き出産記念品として配布してまいります。

また、新たな事業として誕生した子どもさんにご両親、ご家族に感謝の気持ちを表すため、**出産祝い品を贈呈**いたします。

<子育て支援の推進と安心して子育てのできる環境整備>

核家族化の進展や社会環境の変化の中で、保護者の期待に応える**保育園運営**を行うとともに、保護者の経済的な負担の軽減を図るため**保育料、長時間保育料**の見直しを行います。また、多子世帯の負担の軽減を図るため、第3子以降の子の保育料を新たに軽減し、安心して子育てができる町づくりを推進いたします。

保育に関しては、保育士の専門性を高める研修を充実させるとともに、増加する**長時間保育**や**0歳児保育**のニーズに応えるため、引き続き0歳児保育と長時間保育を実施いたします。また、仕事と子育ての両立支援のため、**病児・病後児保育**の経費を増額いたします。

発達支援を必要とする子どもが増加傾向にあるため、発達支援専門員と保育園に加配保育士33人を配置し、一人ひとりの発達を見極めた支援計画に基づく保育を実施

するとともに、保護者支援を推進いたします。

保育園就園前の子育てに関しては、地域の子育てサークルの活動に対する「**地域子育て支援事業補助金**」事業を継続し、活性化を図ってまいります。

また、**子育て支援センター**は開所以来利用者が増加していますが、更に、子育て世帯のつながりを深めるための事業を展開してまいります。

虐待や引きこもり等子育てをめぐる多様な課題に対応するため、新たに**家庭相談員**を配置し、相談体制の充実を図ります。

保育施設の整備に関しては、三日町保育園の園庭拡張工事を行うとともに、保育園施設の長寿命化のための整備計画を策定し、安全安心の保育環境の整備を進めます。木下保育園と沢保育園の建設については、地域住民・保護者等と協議し、検討を進めてまいります。

新しい子育て制度を盛り込んだ「**子ども・子育て支援法**」が平成27年度から施行されます。箕輪町子ども・子育て支援事業計画により事業を進め、子育てしやすい環境整備を図ってまいります。

<福祉施策の充実>

箕輪町総合福祉計画に基づき、地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉について施策展開をしてまいります。

医療費給付事業については、乳幼児、障がい者、母子・父子家庭等の皆さんが安心して医療が受けられる制度を引き続き実施してまいります。

ここで、県事業においては、乳幼児医療費・障がい児医療について、対象者が拡大されることとなりますが、町では平成25年度から、今回、県が拡大する対象者範囲を超えて給付を行ってきており、引き続き子育て世帯や障がい者の方々の経済的負担の軽減に努めてまいります。

地域支え合い体制づくり事業として社会福祉協議会に委託した、認知症者を地域で支え合う「**すまいるサポート事業**」の拡充、また、「**住民支え合いマップ**」の活用などを社会福祉協議会や区との連携により進めてまいります。

上伊那8市町村で設置した、認知症の高齢者や知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などを行う「**上伊那成年後見センター**」を活用し、引き続き認知症や知的・精神障がい者の権利擁護、財産管理などに取り組んでまいります。

高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、**地域包括支援センター**を核として、医療、介護予防、認知症ケアなどが一体的に提供される**地域包括ケアシステム**の構築を進めてまいります。

また、高齢者の生きがいと健康づくりへの取り組みを支援するため、高齢者の各種活動やシルバー人材センターへの支援を引き続き行います。

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方や難病の方が安心して自分らしくこの地域で日常生活や社会生活を営むことができるよう、相談支援事業所の協力を仰ぎながら町の状況に応じて柔軟に対応できる**地域生活支援事業と障がい福祉サービス**を引き続き運用していきます。

また、上伊那障害者総合支援センター、上伊那圏域自立支援協議会、各種関係団体と連携を図りながら、地域ニーズでもある障がい者の活動、居住の場の誘致・設置と町単独福祉サービスの充実や地域社会資源である事業所や人材の育成に取り組んでまいります。

平成27年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	みのわ健康アカデミー第11期生 健康ブランド化事業(アカデミーOB会・10周年事業)	11,691
継続	若年層(特定健診の対象外20～39歳)の循環器健診事業	3,443
継続	各種がん検診事業(胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮)	30,066
継続	24時間対応健康医療電話相談委託料	3,597
継続	妊婦健康診査事業	21,065
拡充	不妊治療費助成事業	1,439
新規	産後ケア・母乳相談等事業	878
継続	未熟児養育医療費給付事業	1,383
新規	出産祝い品の贈呈	540
新規	保健センターエアコン設置工事	3,251
継続	病児・病後児保育事業(平成26年度 13,000千円)	16,000
新規	保育園施設整備事業(三日町保育園園庭拡張工事)	22,950
継続	発達支援事業(子どもの成長支援と、就学を見据えた親支援)	834
継続	医療費給付事業	87,335

継続	町単独福祉医療費給付事業	42,463
継続	家族介護等支援事業	13,557
継続	地域包括ケアシステム構築事業	3,726
継続	障がい者地域生活支援事業	25,277
継続	障がい者福祉サービス給付費	284,700

3 住みやすく人にやさしい都市基盤の整備を目指したまちづくり

<土木事業>

公共土木事業関係は、**各区からの強い要望**により、緊急かつ効果のある生活道路を中心に実施いたします。新規舗装・修繕、側溝改修は、町道471号線、町道337号線、町道513号線ほか45路線を実施し新興住宅地の道路整備も計画的に進めます。また、道路改良は、町道329号線、町道526・531号線ほか9路線など予算を増額し、実施いたします。なお、道路の凹凸などの緊急補修は、迅速に対応することに努め、事故の原因とならないように取り組み、町民との協働による道路・河川・公園等の維持管理の適正化、早期対応を推進いたします。

また、道路法施行規則の一部改正により、**5年に1度、道路橋の近接目視による点検**が義務づけられたことから本年度から計画的に実施することとし、今年度は約40橋の点検を実施します。

社会資本整備総合交付金事業により、町道51・52号線用地取得、508号線道路改良や橋梁長寿命化修繕計画に基づき中央道に架かる跨道橋などの補修工事を計画的に進めます。

また、住宅地の拡大に伴う生活道路の整備を進めるため、**狭あい道路整備等促進事業**により4mに満たない道路幅員の拡幅整備を引き続き推進いたします。

河川環境の整備については、町の管理する準用河川を中心に堆積土の除去などを計画的に進めてまいります。

<都市計画事業と景観行政>

都市計画事業は、社会状況の変化による都市計画道路の未着手路線の見直し作業を引き続き進めてまいります。

景観行政については、山並みを中心とした町の風景を未来にわたって大切にしておくため、景観計画の策定を行っており、今年10月を目処に景観行政団体に移行し、景観計画・景観条例を施行していく予定です。

<上水道事業>

上水道事業では、今後も老朽管の布設替工事を計画的に推進いたします。老朽化施設の更新事業として、上古田配水池に濁度計、残塩計を設置いたします。

安定した水道水供給を図るため、第5次拡張事業により、下古田配水池を長野県上伊那水道用水企業団からの受水施設に改築いたします。

上水道は重要なライフラインであります。緊急時においても迅速に対応し、町民の皆様が安全で安心して飲むことのできる良質な水の安定供給に努めてまいります。

<下水道事業>

下水道事業は、平成23年度から着手した雨水排水計画による天竜川右岸第二排水区（沢・大出地区）の早期供用開始を目指し、平成27年度も下流部分の整備を行います。

また、下水道の接続率向上のため、積極的な取り組みを行うとともに、未普及箇所等で緊急整備の必要な箇所については、引き続き工事を実施してまいります。

老朽化した公共、農集の処理場の長寿命化改築業務、最適整備構想の策定に着手いたします。

平成27年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	道路等の舗装・側溝等補修（平成26年度 84,900千円） 各区要望による町道471・513号線、町道337号線ほか45路線	61,600
継続	道路等の改良整備事業（平成26年度 52,950千円） 各区要望による町道329号線、町道526・531号線ほか9路線の改良 工事費等	58,260
継続	社会資本整備総合交付金事業（平成26年度 252,253千円） 町道51・52、508号線道路改良、橋梁長寿命化修繕工事ほか	211,166
継続	狭あい道路整備等促進事業（平成26年度 20,030千円） 町道101号線、町道587・588号線ほか用地取得・道路改良工事	15,030
継続	交通安全対策施設設置工事（平成26年度 5,350千円） 町道697号線、町道3号線ほか、町内主要道路区画線設置	4,350
継続	都市計画道路見直し業務	2,010
継続	国道バイパス歩道中低木整備業務	3,150
継続	水道事業会計への操出 消火栓工事負担金等	6,999
継続	【上水道事業】配水設備工事事業 配水管布設替等（上古田水系、木下南城、町道508号線ほか） 上古田配水池 濁度計、残塩計設置	70,677
継続	【上水道事業】上水道第5次拡張事業 下古田配水池送水管布設工事、調整池・送水ポンプ設置	21,100
継続	下水道事業会計への操出 農業集落排水事業分 237,000千円 公共下水道事業分 506,000千円	743,000
継続	【下水道事業】雨水排水計画による排水路設置工事	67,000
新規	【下水道事業】下水道施設長寿命化改築業務委託	37,000
新規	【下水道事業】農業集落排水施設最適整備構想策定委託	6,000

4 環境にやさしく、安心、安全、快適に暮らせるまちづくり

<環境関係>

豊かな自然は、かけがえのない町の財産です。この自然を次の世代に引き継ぐため、環境・エネルギー施策を推進します。

ごみの減量化と資源化は、住民の皆様にご協力いただいたおかげで、ごみの排出量は減少傾向にあります。上伊那広域連合による新ごみ中間処理の広域化施設も計画が進んでいますが、さらなるごみの減量化に取り組んでまいります。

ごみの不法投棄は、環境の悪化とごみに対する意識の低下につながります。町民一体となって防止に努め、啓発活動を進めてまいります。

町独自で住宅用太陽光発電設備に対する補助を実施してまいりましたが、平成27年度を最終年度とし、**町の特性を生かした自然エネルギーの普及**に移行してまいります。

山と水は、町の重要な資源です。この資源を有効に活用し新たな自然エネルギーの活用を町民の皆さんと考えていくため、「**自然特性を生かした自然エネルギー普及事業**」を新しく実施します。平成27年度は、山と水を生かしたエネルギーとして、木質バイオマス、小規模水力発電の研究を行います。また、町民の皆様にご理解をいただくため、「自然エネルギー啓発イベント」を開催します。

また、東みのわ保育園では**地中熱利用設備を導入**いたしました。新たな自然エネルギーの有効活用に取り組んでまいります。

<消費者保護>

特殊詐欺の被害は増加を続け、被害者の約80%が高齢者となっています。高齢者の特殊詐欺を未然に防ぐため、関係機関と連携し、**高齢者の見守りネットワーク**をつくれます。

<地域交通>

JR伊那松島駅は、待合室に展示ギャラリーを設置し待合室を拡張いたしますが、利用者の皆さまの安全を確保するため、防犯カメラを設置いたします。

中央自動車道の高速バス利用者駐車場の効率的な利用を図るため、誘導表示看板等を設置いたします。

＜防災・減災対策＞

「自助・共助・公助」の考えに基づき、自主防災組織や消防団を中核とした地域防災力の充実強化など防災、減災施策を強力に展開いたします。

防災、減災は、地域の実態を町民の皆様がそれぞれ認識することが重要なため、昨年9月知事指定を受けた土砂災害警戒区域等を地図化した防災ハザードマップの全戸配布と、気象観測装置の増設を行います。

大規模災害、まず対応できるのは身近な地域住民組織であることから、町内全15区に組織化されている**自主防災組織の充実強化**のための支援及び**防災士の養成**を継続いたします。

平成27年度からの消防広域化に伴い、消防団については地域防災力の充実強化のため、さらなる連携強化が必要であり、**ポンプ車更新と団員の年報酬アップ、出動報酬を創設**します。

また災害への備えとして、昨年10月指定した指定避難所用のマット、応急危険度判定資機材を整備します。

平成27年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	生ごみ資源化モデル事業 モデル地区で生ごみの資源化減量化を推進	7,485
継続	ごみ・資源物収集業務 可燃・不燃・資源ごみの計画収集	62,673
継続	廃食用油リサイクル推進事業(BDF精製事業)	2,377
継続	新エネルギー活用推進事業 住宅用太陽光発電の導入支援、1件80千円限度	4,000
新規	自然特性を生かした自然エネルギー普及事業 木質バイオマス・小規模水力発電の研究 460千円 自然エネルギー啓発イベントの実施 1,540千円	2,000
継続	地域交通の充実 伊那松島駅防犯カメラ設置工事	1,776

	高速バス停駐車場案内表示設置工事	
新規	高齢者特殊詐欺防止見守りネットワーク	924
新規	防災ハザードマップ作成	407
新規	気象観測装置設備増設	589
継続	自主防災組織育成補助	1,500
継続	防災士養成補助金	237
新規	消防団ポンプ車更新	17,280
新規	消防団員報酬アップと出動報酬創設	12,754
新規	指定避難所用マットの整備	513
新規	応急危険度判定資機材の整備	168
継続	住宅・建築物耐震改修事業補助金	3,000

5 創造と活力に満ちた産業を育てるまちづくり

<農業を取り巻く情勢の変化>

平成26年度から農地中間管理機構や日本型直接支払制度の創設、米の直接支払交付金の半減など農業政策は大きく舵を切りました。さらに現在では、農業委員会制度の見直しや農業協同組合改革なども論議されています。このように農業を取り巻く情勢は大きく変わろうとしています。町はこうした情勢の変化を的確に捉えて、農林業の振興を図ってまいります。

<農林業の振興>

米の生産調整は、昨年よりも6.19ha減少した生産数量目標が示されており、昨年同様、上伊那全体で水田活用米穀（備蓄米や飼料用米、加工米等）に取り組み、目標達成を図っていく予定です。現時点では、平成30年には地方が米の生産数量を

自主的に調整することとなるため、生産農家に一層の経営意識が必要となってきます。こうした状況に対応するため、**農作物の機能性分析**を引き続き行い、農作物の**ブランド化**や差別化を進めてまいります。

地域の話し合いによる「**人・農地プラン**」により、担い手への農地集積を図るなど、地域農業のあり方を地域と共に検討してまいります。これらの農地集積は、平成26年度に創設された**農地中間管理機構**による取り組みを活用してまいります。また、耕作放棄地は、農業委員会をはじめとした関係機関との連携協力により、減少傾向にあります。引き続きその解消に向けて取り組んでまいります。

平成26年7月には「**にこりこキッチンたべりこ**」がオープンし、農産物直売所にこりこ、のうさんぶつかこうじょ、交流施設ぷらプラと一体的な事業展開ができるようになりました。これらのハード面をより一層活用し、出荷していただいている農家の所得向上や町の農産物の情報発信を行ってまいります。また、冬季間は地元産の生鮮野菜が減少することから、出荷農家へ収穫時期を遅らせるなどの作付け依頼や、他の直売所との相互連携による補完関係を構築してまいります。

平成26年度に活動を開始した3人の**地域おこし協力隊**に加え、今年度はもう1人採用し4人体制とし、より地域の活動に関わりを持ち農業振興、地域振興のため活動を行ってまいります。

平成27年度は、町全体で農業を支える仕組みの構築のため、各方面から意見聴取等を行い、「**みのわまち農業応援団**」の構築を行うとともに、農商工連携による六次産業化の方向性を研究するなど、箕輪ならではの農業の魅力を感じていただけるような取り組みを推進してまいります。

土地改良事業関係では、各区から要望があった農業用水路等の改修工事を緊急性の高いものから順次進めてまいります。このほか、県補助土地改良事業として**中央自動車道に架かる用水路の長寿命化調査**を計画したほか、土地改良区が維持管理主体となる水路等の改修工事への助成を行うなど、農業施設の適切な維持管理を図ってまいります。また、平成24年度に東箕輪三区に結成された、地域の手で農地・農業用施設や地域環境を守る自主活動組織に引き続き支援を行ってまいります。この取り組みは平成26年度に**多面的機能支払交付金**制度に移行し、新たに7地区が取り組みを始め、町全体では10地区で取り組んでおります。

林業関係では、森林の多面的機能の維持保育や除間伐に対して**里山整備事業**を活用し補助金を交付してまいります。特に、切捨てから搬出へと間伐の実施方法の変更による、間伐材の搬出に要する作業道の開設や作業路網の整備改良活動に対し、助成を

行ってまいります。また、平成27年度中に契約満了となる小横川上流部にある**官行造林分収林の町買取分**を予算計上いたしました。

松くい虫の被害は年々北上し、南小河内地区まで被害木が発生しております。被害の拡大と北上をできるだけ食い止めるため、監視体制の強化と早期発見に努め、**被害木の早期防除（伐倒くん蒸処理）**を実施してまいります。また、県・伊那市と共同して特に被害の多い福与地区の伊那市境で、被害林をすべて伐採し別の樹木を植林する**更新伐**を計画してまいります。このように緩衝帯を設けることで被害拡大の進行スピードを遅らせる効果を狙ってまいります。

農作物に甚大な被害をもたらしている鳥獣対策は、引き続き町猟友会に対する支援を継続しながら**鳥獣被害対策実施隊**を組織するなど体制の充実を図り、被害防止に努めてまいります。

<商工業の振興>

町内企業の動向等を的確に把握し企業振興を支援するため、引き続き**企業振興相談員**を配置するとともに、企業の設備投資に対する各種助成制度と制度資金の周知・活用を図り、中小企業や商店の経済活動を支援してまいります。

町商工会とは、産業経済振興施策の共有化を図り、「**産業・物産展事業**」への助成を行うほか、ナゴヤメッセ展示会出展等の各種事業の実施など連携し取り組んでまいります。また、**中心市街地商店街の活性化**を推進するTMOへの支援を引き続き行うとともに、商工業基盤の更なる安定化と勤労者の福利厚生への支援と利便を図ってまいります。

町内商店の活性化のため、新たに**頑張る元気な商店応援事業補助金**を創設し、魅力ある店舗づくりと賑わいの創出を目指してまいります。また、**個人住宅リフォーム補助制度**は導入5年目となりますが、下水道の個人住宅つなぎ込みへの利用など、地域経済への波及効果が期待できるため、本年度も引き続き実施してまいります。

<観光の振興>

町の農村資源を活用して、グリーンツーリズムによる都市と農村の交流推進のため、「**健康幸せツアー**」を広く発信実施し、都市部からの誘客を図ってまいります。

上伊那観光連盟、上伊那北部観光連絡協議会などの広域的な組織を活用し、箕輪町のみならず他地域との組み合わせによる**広域観光**について幅広く検討してまいります。

また、辰野町、箕輪町、南箕輪村で構成する上伊那北部観光連絡協議会では、独自のイベントを企画運営するなど、**上伊那北部エリアの観光資源**を互いに活かした誘客宣伝活動を行ってまいります。

引き続き、町の貴重な観光資源としての赤そばの里、萱野高原、ながた自然公園、箕輪ダムもみじ湖等の環境整備を進めてまいります。特に、**ながた自然公園**は、リニューアル事業を実施中ですが、平成27年度は老朽化したキャビンの改修やマレットゴルフ場の増設などを行い、平成26年度から2年間をかけた事業を完成させてまいります。

2015みのわ祭りは、町発足60周年記念イベントを企画するなど、昨年引き続きみのわ天竜公園と近隣の工専用地区道路を主会場に、町民皆が楽しむことができる祭りとして実施してまいります。

平成27年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
新規 継続	農業振興調査関係事業 継続:セールスプロモーション事業 4,800 千円 (銀座NAGANO出展経費 300 千円を含む) 継続拡充:農業振興・地域おこし協力隊 21,221 千円 継続:農産物機能性分析(見える化)事業 892 千円 継続:健康グリーンツーリズム事業 2,664 千円 新規:農業応援団等検討会出席謝礼 600 千円 継続:商談会出展料等 3,013 千円	33,190
継続	人・農地プラン作成事業	790
新規	機構集積協力金	3,600
継続	新規就農総合支援事業交付金 6 人	9,000
継続	区要望関連水路等改修工事	11,527
新規	県補助土地改良事業 防災減災業務委託 5,500 千円 農業基盤整備促進事業 2,500 千円	8,000
継続	多面的機能支払交付金事業補助金	29,691

継続	町単独治山事業（区要望か所対応事業）	1,605
新規	官公造林契約満了に伴う町買取り分	10,908
継続	松くい虫伐倒駆除業務委託	12,096
新規	松くい虫被害林樹種転換に向けた伐採箇所等の調査委託	2,000
継続	鳥獣害対策事業(有害鳥獣駆除)活動等謝礼金	6,100
継続	県町制度融資保証料補助金	21,000
継続	工場等設置事業補助金	25,000
継続	町商工業振興資金利子補助金	13,000
継続	小規模事業経営支援事業補助金	11,900
継続	ナゴヤメッセ展示会出展負担金	175
継続	TMO 補助金	3,000
新規	頑張る元気な商店応援事業補助金	3,000
継続	住宅リフォーム補助金	10,000
継続	ながた自然公園周辺リニューアル事業	68,163

6 豊かな文化を育み、次世代を担う人材を育てるまちづくり

<就学前の子ども育成>

幼児期の環境が生涯にわたって生きる力に大きな影響を及ぼすことを踏まえ、「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」の柱を、運動あそび、英語あそび、読育、食育の4つに据え、子どもの発達段階にあわせて総合的に取り組んでまいります。

保育園から小学校への円滑な接続のためのプログラムを作成し連携を進めてまいります。

また、「いきいき保育創出事業」を継続し、各保育園が創意工夫をこらした特徴ある諸活動を、明るく前向きに展開してまいります。

<学校教育>

学校教育では「**生きる力を育成する学校教育の推進**」を基本方針とし、「主体的で創意ある学校づくりの推進」、「基礎学力の向上を図る学習指導」、「心豊かでたくましい子どもを育てる指導」、「教師のキャリアアップを扶ける教職員の研修」を重点として、箕輪町の学校教育を推進してまいります。

小中学校は、21世紀を担っていく子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばす場であるとともに、生涯学習の基礎を培う大切な場であります。一人ひとりの子どものもつ「よさと可能性を」を引き出し、豊かな心を育み、みんなで子どもを勇気づけ、自己肯定感をもつ子どもを育成してまいります。

そこで、箕輪の子育ての共通基盤として位置づいてきました「**グレード・アップ PLAN**」を、平成27年度からは箕輪中学校へも拡大し、学校と保護者がそれぞれ協力して、一人ひとりの子どもの自己肯定感を育みながら健やかな成長を支えていく体制を整えてまいります。

学力向上に向けた施策としましては、**スタディサポート事業**として、教職員の指導力向上をめざした、「キャリアアップを扶ける各種研修の実施」、「授業の充実をめざす校内研修の充実」を通して、教職員一人一人が、「学校づくりの根幹は授業づくりである」という自覚を深めていく学校づくりを推し進めます。その推進役として、**学校教育専門官**を引き続き配置し活用していきます。

ICT教育の推進については、箕輪中学校が平成26年度から県の「**ICTを活用した先駆的モデル的な実践研究パイロット校**」に選定され、「生徒同士が協働して問題解決できる力」を育てることを目標として、タブレットパソコンを生徒用120台、教師用20台 計140台を整備し、合わせて、情報教育活用支援員を配置しました。既存のICT機器も十分活用し、「分かる授業」づくりを進めてまいります。

平成27年度には、小学校の特別支援学級を含めた全教室にタブレットパソコン(ipad)を1台ずつ導入し、**ICT教育の拡充**を図ります。

中学校の放課後学習や小学校の廊下学習、小学生の夏休み寺子屋などの、学力向上のサポート事業は、地域のボランティアや学校の先生方の協力をいただきながら引き続き実施してまいります。

「ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業」は取り組み始めて10年が経過した今、その内容を充実発展させていく時期を迎えました。言わば第2ステージの始まりであ

ります。そこで、ステージⅡとして、今後10年先を見据えた新たな取組を視野に入れながら、内容の充実・発展をめざしてまいります。

国際交流員配置事業については、保育園に1人、小学校に3人、中学校に2人を配置したNLTを有効に活用し、小学校に導入したレシピ方式の英語学習プログラムを基にしながら、小学校の「教科化」への対応をしつつ中学校での指導カリキュラムを充実させ、中学卒業時に英語でコミュニケーションできる「**使える英語力**」の育成をめざします。

読書の推進については、保育園から中学校まで読育事業を通して、豊かな心とコミュニケーションを育んでまいります。子どもが購入する本を選ぶ「**選書会**」等新たな取り組みも行うとともに、図書館司書の研修を充実させて、NIEへの積極的な取り組み、学校図書館を活用した授業への参画等、図書館司書を中心とした情報発信基地としての図書館運営の充実を図ってまいります。

地域に開かれた特色ある学校づくりについては、**信州型コミュニティスクール**の立ち上げ準備を進めていきます。今まで築いてきた地域と学校との関係を大切にしつつ、地域と共に歩む開かれた学校づくりをさらに推進いたします。

また、**学校教育振興交付金**により、主体的で創意ある学校づくりが推進できるよう校長の学校経営を支援してまいります。

すべての子どもの学びの保障支援事業については、教育相談・特別支援教育支援の充実のために相談員や介助・支援を必要とする児童・生徒のために**介助員・支援員を継続して配置**し、きめ細やかな対応に努めます。また、中学生の学力向上を図るため、数学・英語・国語の補助教員を継続配置します。

学童保育については、町内3小学校内で開所しております「**学童クラブ**」の**保護者負担額の軽減**を図り、利用者ニーズに合わせた施設等の整備計画に取り組みます。

通学路の安全を確保するため、安全対策工事等を引き続き行ってまいります。

＜生涯学習事業＞

平成27年度策定予定の第5次振興計画に併せ、箕輪町生涯学習基本計画（生涯学習プラン）の見直し作業を平成26年度から進めています。少子高齢化社会の進展の中で、従来の国際化・高度情報化といった観点に加え、“女性の社会参加”といった

視点から見直し作業を進めてまいります。特に、現在、作成中の計画では、「人と地域をつなぐ生涯学習の推進」「地域の特色を生かした芸術文化の振興」を基本として方向性の検討を進めてまいります。

男女共同参画社会の実現に向けては、政策方針決定や経済活動への女性の参画が進まない中で、ともに地域や企業に対し女性が活躍しやすい環境づくりと意識の啓発を進めるよう取り組んでまいります。

生涯学習に係る自主事業では、町発足60周年記念事業に併せ桐五重奏団によるコンサートや一般向けのコンサート等を企画実施するとともに、地域住民の皆様が参加しやすい事業運営の検討を進めてまいります。

また、町民一人ひとりが、生涯学習活動や生涯スポーツを通し、健康で心豊かな生活を送れるよう、町の文化センターや各種の施設を中心に、各種の講座やスポーツ教室、町民文化祭、各種の大会、社会教育登録団体が取組む事業等、**各種事業**を積極的に展開してまいります。

また、町民の皆様が社会体育施設を安全に安心して利用できるよう、社会体育館雨水ポンプ施設増設工事や各体育施設の修繕を実施し、体育施設の環境整備を進めてまいります。

公民館事業では、「公民館の新たな価値」を見出すため、地域の活性化や連帯、絆の醸成につながるような活動や組織のあり方を**公民館運営審議会**で審議し、平成26年7月に「協働の時代における新たな公民館活動について（答申）」を取りまとめました。

本答申では、公民館活動に対し、60歳代以下の若年層・就労者層の認知度や参加状況が低いという課題があげられています。ホームページ等による広報活動の推進と、若年層にも興味を持ってもらえるような講座の見直しを進めてまいります。

また、分館活動の活性化は、地域の活性化や魅力的な協働のまちづくりにつながります。町公民館は、分館全体の情報交換の機会を設けアイデアを提供するなど、分館が活動しやすい環境を作り、地域人材の活用を積極的に進めていきます。

「元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業」は、町民の皆様、特に、多くの高齢者にご理解いただき事業が拡大しております。地域通貨**「箕」**は、町内で利用され地域の活性化に寄与しております。今後も会員の増強、取扱店の加盟促進に取り組んでまいります。

博物館事業では、更に充実した**「町内まるごと博物館事業」**を展開し、身近で親しまれる博物館を目指します。また、引き続き**資料収蔵施設の整備**を図ります。

文化財保護事業では、町の大切な財産である各種文化財の保護・管理等について、全体的な視点から適切な保存に努めてまいります。また、「東山山麓歴史の道事業」を含めた、町全体の文化財の普及方法について検討いたします。

図書館事業では、町の皆さんが本に親しみ、知る機会を幅広く得られるよう、地域の情報拠点として、蔵書や資料の充実を図り、蔵書の活用にレファレンス等を通じて努めてまいります。

「読育推進」のため、保育園や小中学校と連携して、読育ボランティアの育成に取り組んでまいります。また、将来に向けた資料保存としてデジタル・アーカイブ化事業を進め、「郷土資料誌」の電子書籍化に取り組んでまいります。

「キャリアデザイン事業」では、学生の就業支援をはじめ、住民の皆様の再就職、起業、また、退職後の人生のキャリアアップ支援機能を「知の拠点」である町図書館に設け、関連蔵書の充実強化を図り、新たなサポート窓口となるよう引き続き取り組んでまいります。

「なごみ〜な」の愛称で親しまれている世代間交流室は、絵本や昔ばなしの読み聞かせや手遊びなどに成人の皆様が参加し、一緒に交流できる「なごみの空間」として活用してまいります。

公民館・郷土博物館・図書館は、「**三館連携事業の推進**」にあたり、それぞれの事業のエッセンスを持ち寄り、町民の皆さんに参加・体験していただけるバラエティに富んだ講座を開設してまいります。

少子高齢化社会で未婚化・晩婚化が進む中で、結婚支援を進めていくことは大きな課題です。「**ハッピーサポートみのわ**」は、町内の相談員との情報の共有を図り、出会いの場を提供するとともに、連携を進めてまいります。また、平成26年度に作成したDVDを活用した出前講座、講演会の開催等による啓発と並行して、長野県マッチングシステム等を活用した情報提供を進めてまいります。

フェンシング振興事業については、町の活性化につながるように、町民の皆様との住民協働によるまちづくりを進めてまいります。

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」大会の選手団の事前合宿地招致に立候補するなど準備を進めてまいります。また、日本フェンシング協会と連携して、「**第8回全国カデ・エペ選手権大会**」を地域活性化センター「スポーツ拠点づくり推進事業」の支援により実施し、あわせて「**第3回全国ジュニア・エペ選手権大会**」「**第10回みのわもみじカップフェンシング大会**」を開催し、オリンピック出場を目標に、

選手の育成を図ってまいります。同競技の振興により全国に「フェンシングの町箕輪」を発信し、町の活性化に努めてまいります。

平成27年度 主な予算措置

区分	事業内容	予算額(千円)
継続	運動あそび推進事業	2407
継続	食育推進事業	200
継続	読育推進事業 みのわっ子絵本プレゼント、保育園図書購入費、読育推進事業	1,650
継続	保育園運営費 いきいき保育創出事業	1,000
拡充	考える子ども育成事業(タブレットパソコンを導入したICT教育の実施) タブレットパソコン等ICT機器リース料 7,810 千円 情報教育活用支援員による、ICTを活用した授業の推進 3,601 千円 小学校へのタブレットパソコン購入費 6,639 千円	18,050
継続	学校教育専門官を配置し、学校教育の充実と質の向上を図る。	11,719
継続	スタディサポート事業 中学生放課後学習指導員謝礼 450 千円 小学生夏休み寺子屋教室開設謝礼 150 千円	600
継続	小学校英語学習プログラム(レシピ方式)の導入 共通の教材やカリキュラムを使い、各小学校の英語学習のレベルの平均化を図り、国際感覚や基礎的コミュニケーション能力を養う。	6,130
継続	英語指導外国人講師委託 外国人講師(中学校2人、小学校3人、保育園1人を配置)による英語遊び・授業を実施し、国際感覚を育み、低学年から英語に親しむ環境づくりを推進する。	31,493
継続	支援が必要な児童・生徒に対して教育相談員、支援員、支援補助員、介助員を配置し、安全安心で充実した学校生活を確保する。 平成27年度 23人 平成26年度 23人 平成25年度 16人	46,269

継続	教育振興交付金 子どもの学力向上、教員の指導力向上、魅力ある学校づくりなど、学校の創意工夫を凝らした自立的な取り組みを支援する。	5,000
継続	通学路の安全のための道路標示等	800
継続	文化センター自主事業委託料 日本の太鼓 in みのわ、桐五重奏団コンサート(町発足60周年記念)等	3,838
継続	フェンシングによるまちづくりの推進 (財)地域活性化センターのスポーツ拠点づくり推進事業の助成を受け、全国フェンシング カデ・エペ選手権大会を開催し、競技の発展と、町の活性化につなげる。	6,500
継続	みのわ町民文化祭の実施	2,251
継続	成人講座事業	864
継続	元気はつらつ箕輪の大先輩活動支援事業	8,386
継続	古田人形整備交付金	983
継続	博物館資料収蔵施設の整備	1,782
継続	キャリアデザイン事業 学生の就業や住民の再就職、起業にむけたキャリアアップの支援を町商工会や地域の企業等と連携し、蔵書等も活用した新たなサポート窓口として充実強化を図る。	1,020
継続	郷土誌デジタルアーカイブ化事業	982
継続	箕輪町図書館建設基金の積み立て	20,020

平成27年度の施政並びに予算編成方針の概要と、振興計画に掲げられた7つの政策に沿った主な事業の内容説明は、以上のとおりでございます。

— 特 別 会 計 —

◆国民健康保険特別会計

箕輪町国民健康保険特別会計は、**事業勘定の予算総額を27億3,005万9千円と定めるもので、前年度比16.2%の増**となっております。

被保険者数は、3,706世帯、6,144人とし、前年度より181世帯の増、被保険者は、42人の減を見込みました。

国民健康保険は、医療保険体制の基盤をなす制度として、地域医療の確保と町民の健康増進に大きく貢献してまいりました。しかし、疾病構造の変化や医療技術の高度化による医療費の増加と、少子高齢化による被保険者数の減少により国民健康保険の財政運営は厳しい状況にあります。こうした中、国は安定した財政運営を図るべく国民健康保険を都道府県単位に平成30年度に一元化する方針を決定し、準備が進められています。

町の国民健康保険財政も厳しい状況にありますが、引き続き一般会計からの繰り入れは法定基準内を基本とし、国民健康保険税の税率は据え置くこととしました。今後、国の動きを注視しつつ、健全な財政運営を堅持するよう努力してまいります。

また、特定健診・特定保健指導は、平成24年度に見直した特定健康診査等実施計画に基づき健診受診率等の向上に努め、健康維持や生活習慣病の予防・早期治療を推進し医療費の抑制を図ってまいります。

診療施設勘定については、**予算総額を7,024万円と定めるもので、前年度比14.3%の減**となっております。

東部診療所では、患者数、診療収入の減が見込まれ厳しい運営となっております。このため、一般会計から1,500万円を繰り入れ、引き続き在宅医療の推進による地域医療の充実と経営の安定化を図ってまいります。

◆後期高齢者医療特別会計

箕輪町後期高齢者医療特別会計は、**予算総額を2億2,774万9千円と定めるもので、前年度比3.9%の減**となっております。

被保険者数は、3,373人とし、61人の増を見込みました。被保険者は医療費から被保険者一部負担金を除いた残りの額の10%を保険料として負担いたします。

歳入は、保険料1億7,201万8千円と、低所得者の保険料軽減分及び徴収事務費

としての一般会計繰入金が主なものであります。歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金及び保険料の徴収、窓口業務に係る経費が主なものであります。

引き続き長野県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、円滑な運営を図ってまいります。

◆介護保険特別会計

箕輪町介護保険特別会計は、**予算総額を18億8,177万7千円と定めるもので、前年度比5.4%の増**となっております。

第6期介護保険事業計画に基づき推計しますと、平成27年度から平成29年度の3年間の標準給付見込み額は、58億2,872万円となります。

年々、介護保険給付費が上昇しており、平成27年度は17億8,739万円余の介護保険給付費を見込み、前年度より9,887万円、5.8%ほど増額となりました。

介護保険第1号被保険者の保険料額は、国の制度改正や介護給付費等の上昇から引き上げを余儀なくされるところであります。

また、高齢者が増加する中、社会保障を持続可能なものとするため、介護保険制度が改正され、生活支援を地域で支える体制づくりが重要となります。高齢者が住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築を進めてまいります。

介護保険事業につきましては、適切な介護サービスの提供と介護保険料により、需給と供給のバランスのとれた施策の展開が必要であります。介護を必要とする方への支援と、介護が必要な状態になることをできるだけ予防する介護予防の両面から、事業の展開を進めてまいります。

◆水道事業会計

箕輪町水道事業会計は**予算総額、収益的収支は5億609万6千円で、収入で前年度比10.3%の減**となっております。主な理由は、特別利益の減額によるものであります。収益的支出は、前年度対比24.0%減であり、資産調査による、特別損失が大幅に減額になったことが主な理由となっております。

資本的収支の収入では、1,060万円で、前年度対比43.3%の減、支出では、2億801万9千円で、0.2%の減となります。差し引き不足額の1億9,741万9千円は、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補て

んするものであります。

水道料金は、前年度料金引き下げ改定をいたしましたことと、使用水量の減少を考慮し、700万円程の収入減を見込みました。

建設改良事業は、引き続き第5次拡張事業に基づき、下古田配水池を長野県上伊那水道用水企業団からの受水施設に改築し、安全で安定した供給を図ります。また、老朽管の布設替工事を計画的に推進してまいります。

安定経営のための経費の節減に努めるとともに一層の効率的経営に努力し、企業会計としての独立採算の原則を堅持してまいります。

◆下水道事業会計

下水道事業は、**収益的収支では、10億7,918万2千円、前年度比6.3%減**となっております。**資本的収支の収入では、5億70万1千円、支出では、8億7,105万6千円**となっております。差し引き不足額の3億7,035万5千円は、当年度分消費税資本的収支調整額及び当年度分損益勘定留保資金で補てんするものであります。

管渠工事は、ほぼ完了しておりますが、未普及箇所では緊急整備箇所は随時工事を実施してまいりますとともに、接続率の向上に積極的に取り組みます。

安全安心な町づくりに向けて、沢・大出地区の雨水排水路の設置工事を引き続き推進してまいります。

以上、各特別会計予算の編成概要を申し上げます。よろしくご審議ご決定くださるようお願いいたします。